

美浜町社会福祉協議会

吉右エ門さん家

令和5年度 小規模多機能型居宅介護サービス評価

◆自己評価

事業所自己評価

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年10月10日(17:00~20:00)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	3人	0人	1人	6人

前回の改善計画
サービス開始後も、かかわりの中で気づいた事で支援が必要と思われることは随時追加し、利用者の思いに寄り添った支援を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果
利用者や家族からの新しい情報があれば、支援内容を変更した。 利用者の思いを確認しながらその都度支援し、利用者が混乱しない様に配慮した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	2	3	1	0	6
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	3	1	0	6
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	2	4	0	0	6
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	4	0	0	5

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	特に初期支援では利用者が混乱しない様に配慮し、信頼関係を築き上げることを心がけて接することができる。 ケアマネとして、利用者の目標を明確にするよう努めている。 独居や認知症の利用者は情報量が少ないため、サービス開始時は生活を知ることから初めて、支援を広げている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	勤務の経験が短い為、利用者や介護者のニーズを理解して支援するまでの余裕がなかった。 利用開始時のケアマネからの情報が揃っていない段階でサービスが始まる為、職員自身でも情報収集をしないとイケないが、時間を作る余裕がなかった。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	利用者が不安にならないよう丁寧にかかわり、利用者の話をじっくり聞き情報収集の時間を作る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年10月10日(17:00~20:00)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	6人	0人	0人	6人

前回の改善計画
短期目標を達成出来る具体的な内容にする。
前回の改善計画に対する取組み結果
本人の短期目標が分からず、支援にあたっていた。 短期目標に個性が出るような言葉で表現し、より具体的になるように努めた

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	1	4	1	0	6
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	2	4	0	0	6
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	5	0	0	6
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	5	0	0	6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	利用者が生き生きと暮らせるように、常に本人の言葉に耳を傾けるようにしている。 支援を実践した後の利用者の変化などを記録し、次の支援に結び付けている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	日々の業務に時間が取られ記録の読み込みが出来ない為、利用者のやりたい事や短期目標が把握できていない。 介護記録に記載している短期目標が、毎日の支援内容に結びついている事を理解していなかった。 利用者が自立した生活を送りたいと思いき事業所を利用しているが、職員ができることまでお世話をしていることがある。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	ライフサポートプランで本人のゴールを確認し、日々のかかわりで本人が出来る事は手出しをせず見守りを行い、本人が自立できるように働きかけをする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年10月10日(17:00~20:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	0人	5人	1人	6人

前回の改善計画
利用者の自宅での暮らし方が職員間で共有できるよう、軒下マップの情報を随時追加する。
前回の改善計画に対する取組み結果
軒下マップの情報の確認ができていなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	2	3	1	6
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	4	2	0	0	6
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	3	2	0	6
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	4	2	0	0	6
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	4	2	0	0	6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	利用者によって支援の方法を臨機応変に変えている。 利用者からの希望や要望にその都度適切に対応するように努めている。 本人の言葉以外に、測定数値などで食事摂取状況など推測し、体調管理を行っている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	生活歴が把握できておらず、現在の利用者の支援に活かしきれていない。 軒下マップは、サービス開始時には情報として活用していたが、それ以降は追記などしていなかったため、利用者の最近の情報が更新されていない。 事業所勤務の経験が浅い為、利用者や家族の潜在的ニーズを知る方法が見つかっていない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	軒下マップでは、これまでの暮らしや利用者の思いが分かるよう、地域資源を含めて書き込みを行い、内部会議の時に情報共有を行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年10月10日(17:00~20:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	1人	2人	2人	6人

前回の改善計画
軒下マップが職員全員で共有できるよう、ミーティングの時に必要があれば活用し、定期的な更新も行う。
前回の改善計画に対する取組み結果
軒下マップが利用開始時には作成が間に合わず、情報源としての活用ができていなかった。介護職員が追記をすることがなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	4	1	1	6
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	2	2	2	0	6
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	4	2	0	6
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	3	2	0	6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	遠方の家族には、変化があった時だけでなく日頃の様子なども随時ラインで情報を送り連携をしている。地域行事などに参加できるよう、近所の方と連携をとり協力してもらっている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	利用者の周辺情報の量が少ない為、地域での暮らしの支援が不十分である。独居利用者が多い為、食事や受診などの連携をとることが多いが、すでに活用している地域資源以外で利用できるものがないかという視点がない。地元の地域資源の把握ができていない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	利用者が地域の方との関わりが継続できるように、地域での買い物や施設・サービスの利用などが自立できるよう支援する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年10月10日(17:00~20:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	2人	2人	1人	6人

前回の改善計画
住み慣れた自宅地域の方との関係を持ちながら長く暮らせるよう、家族や地域の民生児童委員等との情報の共有を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果
独居利用者は集落の民生児童委員や社協の集落担当職員と連携をとっており、困りごとがあれば協力いただいている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	5	0	0	6
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	5	1	0	0	6
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	2	4	0	0	6
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	4	0	0	6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	利用者それぞれに必要な支援を職員間で検討し、ニーズの応じて通い・訪問・泊りの提案を行い、利用者が地域での暮らしが優先されるよう配慮している。 体調不良により、通いが出来ない利用者には、訪問を追加して行い自宅で安全に過ごせるように配慮した。 食生活が不規則になっている利用者は、宅配弁当の業者を利用している。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	地域資源に対して理解ができていない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	身近にある地域資源を表にまとめ、利用者が活用できるよう支援する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年10月10日(17:00~20:00)

6. 連携・協働

メンバー 6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	2人	0人	2人	6人

前回の改善計画	職員間で地域のイベント情報を共有し、積極的に参加することにより、事業所と地域の繋がりを継続する。
前回の改善計画に対する取組み結果	情報収集を行い、地元のまつりなどのイベントに利用者と参加した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	1	1	1	3	6
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	1	0	1	4	6
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	2	1	1	2	6
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	1	2	1	2	6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 利用者の体調不良時には訪問リハビリと連絡をとるなど、他のサービス事業所と連携をとっている。 担当者は自治体の会議に参加している。 近所の方がボランティアとして、鉛筆画を教えに来てくれている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 利用者に地域開催の活動やイベントの情報を紹介していない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 行政の広報などで情報収集を行い、利用者が地域行事などに積極的に参加できるよう支援する。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年10月10日(17:00~20:00)

7. 運営

メンバー 6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	2人	4人	0人	6人

前回の改善計画
登録利用者にサービス内容についてのアンケート調査を実施し、利用者や家族の思いを知ることで、より利用しやすいよう改善に努める。
前回の改善計画に対する取組み結果
アンケートを実施したが、統計がまだとれておらず、改善に繋がっていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	2	2	1	1	6
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	4	1	1	6
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	3	2	1	6
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1	2	1	2	6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	集落内では介護の事業所としての認知はされており、福祉の相談窓口として広報されている。職員の異動があり、地域福祉の拠点として事業所が地域に望まれていることなどを話しあう機会は増えた。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	利用者の介護業務が中心となっており、地域福祉の拠点としての活動があまりできていない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	地域の方が事業所開催の催しへ参加できるよう働きかけを行い、地域の方と事業所がお互いに協力し合い活発な交流を図る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年10月10日(17:00~20:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	1人	4人	1人	6人

前回の改善計画
メンタルヘルスの研修を行い、介護業務が円滑に行えるように環境を整える。
前回の改善計画に対する取組み結果
メンタルヘルスの研修は実施できなかったが、メンタルケアの一部として職員間のコミュニケーションがとれるよう、ミーティングの時間や送迎時間を工夫した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	2	4	0	0	6
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	1	2	2	6
③	地域連絡会に参加していますか	2	0	0	4	6
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	2	1	2	6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	職場内での研修には積極的に参加できている。 事故に至るまでのヒヤリハットの記録を残し、再発防止に取り組んでいる。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	研修案内の保管場所の周知ができておらず、職員がいつでも見られる状態でなかった。 スキルアップの取組みについては、具体的に研修の日程等を調べられていない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	職員が外部研修に積極的に参加できるよう、研修案内をいつでも見られる一階の棚に保管する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年10月10日(17:00~20:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	0人	6人	0人	0人	6人

前回の改善計画	プライバシーが守られるよう、他の利用者の中で個人情報を伝えない工夫をするなど、情報の共有方法の見直しをする。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用者それぞれの触れて欲しくない内容が分かれば、それに配慮して対応している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 身体拘束をしていない	6	0	0	0	6
② 虐待は行われていない	6	0	0	0	6
③ プライバシーが守られている	2	4	0	0	6
④ 必要な方に成年後見制度を活用している	2	2	1	1	6
⑤ 適正な個人情報の管理ができている	2	3	1	0	6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 身体拘束や虐待などの人権に関する事は、その重要性を理解できている。 プライバシー保護の研修を行い、個人情報の確認を行った。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること プライバシーや個人情報の保護に関しては、厳守する事を心掛けているが、事業所の物理的な性質上困難な時がある。 施設内で常に他の利用者の視線がある為、プライバシーを守る為の配慮が十分できていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 利用者の個人情報などで触れて欲しくない内容に関しては、記録に残して共有する。
---------------	--

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	美浜町 社会福祉協議会	代表者	乙見康夫	法人・ 事業所 の特徴	古民家を改修した建物は、利用者が落ち着ける場作りを心がけている。利用者一人ひとりのもっている力を把握し、自宅で今までと変わらず暮らせるように自立支援をおこなう。地域住民がサロンの場として活用したり、催しに参加することを勧め、地域の方と利用者と触れあう関係づくりを大切にしている。また、吉右エ門さん家たよりの発行やブログの配信により、地域住民とのかかわりの様子などを紹介し、地域福祉の拠点になれるよう努めている。
事業所名	吉右エ門さん家	管理者	野原由美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	1人	1人	0人	1人	1人	0人	3人	0人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	利用者の個人情報の保護の取組みとして、当日の変更や体調確認などはメモを使用し伝言をする。	利用者が近くにいる状況では、個人情報の取り扱いに配慮しながら伝達をしている。	利用アンケートに対してのリアクションが大事ではないか。介護サービスを利用している家族の評価が一番参考になるのではないか。	利用アンケートの結果を評価し、サービスの向上につなげる。
B. 事業所のしつらえ・環境	駐車場入り口の整備として、雨どいに反射板をつけて夜間の出入りの時に支障がないようにする。	整備できている。	古い建物の雰囲気大切にしており、地域になじんでおり良いと思う。	なし
C. 事業所と地域のかかわり	地域の方が困りごと相談に来やすいよう、対応時間を決め（平日13:00～16:00）、掲示やチラシ配布にて周知する。	お便りや、チラシで相談時間等を周知した。	事業所の周知は、集落内に関しては問題ないが、その他の集落の方に周知できているかは分からない。	地域福祉の拠点として、地域住民の方と利用者が参加できる行事を行う。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	職員は各集落の福祉委員会に参加し、コロナ禍でサロンが開催出来ていない地域に働きかけをする。利用者の住んでいる集落でサロンが開催された時には、希望に	利用者がサロンに参加できるよう、近所の方と連携をとり参加ができた。サロンが開催されていない集落もある。	事業所のある集落の祭りや盆踊りなどに、利用者や職員が参加して盛り上げて頂いている。	なし

	応じて参加できるように支援する。			
E. 運営推進会議を活かした取組み	事業所の活動状況の報告方法を見直し、事業所のかかわることで利用者がどの様になったかなど、効果を伝える。 テーマを決めて、会議を進めるようにする。	活動状況報告は簡潔で、理解できた。 会議はテーマを決めて行っていた。	日中に事業所に来ることがないので、外部評価をするにあたり、事業所の様子が分からない。来所できるとイメージしやすいが、仕事などの都合で難しい。	日中の事業所の様子を撮影し、運営推進会議で活用することにより事業所の理解を深めてもらう。
F. 事業所の 防災・災害対策	災害時の手順書を作成する。	手順書は作成できていないが、事業継続計画を作成中である。	防災訓練では、一時避難として会館を使っていたことは、訓練自体が充実するので今後も継続してください。	事業継続計画の作成に取組み、防災訓練を実施する。